



尼崎市立立花中学校

学校だより

令和4年3月号

強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生



立花中のたすきを繫ぐ

校長 岡本 修一

早いもので令和3年度最後の月、3月になりました。日ごとに暖かくなってきています。春の訪れは、陽ざしや気温で感じとることができますが、鳥のさえずりや、虫が動く音でも春を感じることもできます。そんなゆとりとあたたかい心を持ちたいと思います。

まもなく3年生は、立花中学校創立74回目の卒業生として巣立っていきます。卒業を控え、これからの1日1日を後輩たちのよい見本となるよう、大切に過ごしていくことでしょう。卒業生、保護者の皆様に、心からお祝い申しあげるとともに直接・間接的に指導・助言にかかわってくださった地域、関係機関の多くの方々にも厚くお礼申しあげます。

3年生は新しい3年生のために、2年生は新しい2年生のために、そして1年生は4月に入学してくる新しい1年生のために、この1年間でしっかりと学んだこと、体験したことを確かに伝え、「立花中のたすき」を確実に「繫」いでください。

【生徒・保護アンケートを実施しました】

全生徒、保護者を対象にアンケートを実施しました。保護者の皆さまには、アンケートへのご理解とご回答いただきましたことにお礼申し上げます。アンケート結果の概略をお知らせします。各問いの(%)は、「あてはまる」もしくは「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合を示しています。

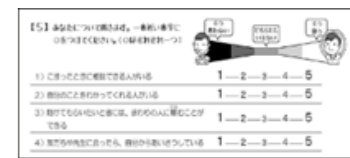
生徒アンケートの結果より・・・1「学校の授業はわかりやすい」(87%) 生徒にとって、おおむねわかりやすい授業が行われています。全ての生徒にとってわかる授業の研究を推進していきます。2「学校の授業を大切にしている」(95%) ほとんどの生徒は学校の授業を大切に考え、学校での学習に取り組んでいます。3「予習や復習、宿題など家庭学習を1日平均1時間以上行っている」(57%) 計画的に家庭での学習時間を確保できるようにしましょう。ご家族のご協力をお願いします。4「先生に、困ったことや悩んだことがあるとき相談することができる」(58%) さらに教職員と生徒の信頼関係を強め、教育相談を充実していきます。5「進路や将来の職業について考える機会がある」(76%) 高校への進学だけでなく、将来の社会的自立をめざしたキャリア教育を推進していきます。6「教室や体育館などの学校設備は整っている」(67%) さらに老朽化している箇所の補修や改修を進めていきます。7「地震や火災などが起こった場合どうしたらよいか知らされている」(93%) 地震、火災、避難訓練の成果もあり、9割以上が防災について意識が高いようです。8「立花中学校の学校目標(めざす生徒像)を知っている」(72%) 7割以上が学校目標を理解しています。全ての生徒たちが目標達成に向けた努力ができるようにしていきます。9「学校に行くのが楽しい」(78%) 全ての生徒たちが、楽しく通いたいと思える学校づくりを推進していきます。10「適切な言葉づかいや挨拶ができる」(90%) ご家庭でのしつけをしっかりとされていますので学校とも連携し継続していきましょう。11「服装や持ち物など学校のきまりを守っている」(96%) ほとんどの生徒が「ルール」をよく理解し守っています。保護者の皆様のご理解とご協力もいただいております。12「委員や教科係の役割は責任をもって行っている」(96%) 学校、学級での自



分の役割を自覚して責任をしっかりと果たしています。13「命の大切さや人権・社会のルールなどについて考えた行動ができる」(95%) 生徒たちの人権意識の高まりがみられます。さらに人権教育を推進していきます。14「授業の最初に、先生から本時の目標が示されている」(78%) さらに「わかる授業」に向けて、授業改善を推進していきます。15「授業の最後に、授業内容をふりかえるような「たしかめ」の時間があつた」(73%) 授業のまとめの時間を確保できるように計画的に進めていきます。⑰「フォーサイト」は生活を管理したり、学習計画を立てたりするうえで使いやすい」(61%) 今年度より始めた取り組みです。次年度も、生徒たちが自分の生活の予定を立て、規則正しい生活を送り、家庭学習がしっかりとできるように継続していきます。

以上、生徒アンケートでは、肯定的な回答が高くなっています。課題はまだありますが、学校では挨拶がよくでき、ルールを守り、落ち着いた環境で授業に取り組んでいます。チャイム着席や教育相談、避難訓練の成果が現れていると考察しています。

保護者アンケートの結果概要・・・1「学校は学校教育目標や重点取り組み項目を分かりやすく伝えている」(75%) 2「学校通信「立花だより」など学校からの連絡等は、適正な内容である」(85%) 3「学校のホームページを見ることがある」(59%) 4「学校は家庭への連絡などを積極的に行っている」(72%) 5「学校には、保護者の要望や相談に向かい合う姿勢がある」(72%) 6「学校は新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組んでいる」(85%) 7「学校は生徒の言葉づかいや挨拶などを適切に指導している」(89%) 8「学校は生徒の相談によく応じている」(71%) 9「学校はいじめや校内暴力のない学校づくりに取り組んでいる」(82%) 10「学校から進路について十分な情報提供を受けている」(59%) 11「学校は避難訓練などを通して防災教育を進めている」(95%) 12「学校は生徒に命の大切さや人権・社会のルールなどについて考えた行動をするよう適切に指導している」(79%) 13「学校は様々な場面でデジタル機器を活用しようとしている」(70%) 14「お子さんは自宅や塾など学校外で、毎日学習する習慣がある」(64%) 15「お子さんの家庭学習における課題や学習計画を知っている」(59%) 16「お子さんは地域の行事に積極的に参加している」(64%) 17「ご家庭でお子さんと進路について話し合うことがある」(85%) 18「お子さんは楽しく通学している」(83%) 19「通学路は安全である」(76%) でした。



大変ありがたいことに、ご家庭の教育力が高く、小学生のときから意欲的に学ぶお子さんが多いため、中学校入学後も順調に教育活動を進めることができているようです。けれども、課題もあるようです。「よい子」は、親や大人の要求に応えようと、失敗をしないようにしようとしがちです。挨拶もしっかりできる「よい子」が多いです。しかし、「よい子」は、新しいことや苦手なことに挑戦する意欲には少し課題があるようです。また、友だちに嫌われたくないという思いが強くなり、優しさも加わり、相手との対立をさける傾向にあります。「よい子」というだけでは、これからの予測不能な時代や社会の中で力強く生き抜いていくことができるのでしょうか。不安になります。失敗を恐れず、新しいことに挑戦し、友だちとの対立を恐れず意見を交わし合いながら、お互いを認め合い、力強く生活してもらいたいです。未知のことへ挑戦し、失敗してもその失敗の中から学び、また、友だちとの対立から人間関係についても学び、力強い生き方を学んでいってもらいたいです。学校では、生徒たちがお互いの挑戦を認め合うことを求めています。このことが、思いやりにつながり、集団への帰属意識につながっていくと考えます。保護者の皆さまには、お子様の失敗や子ども同士の対立をしっかりと見守り、子どもたちが自ら解決し、乗り越えていくようご支援をお願いいたします。

【コロナウイルス等の感染症拡大防止に】

新型コロナウイルス感染をできる限り抑えることが重要になっています。ご家庭におかれましては継続して、十分な睡眠、適切な栄養摂取、そして手洗い、うがい、マスクの着用等の感染症予防にご留意くださいますようお願いいたします。